

卒業生は今……

漁業高等学園では、昭和45年の設立以来、昨年度までの卒業生は約860名に達し、様々な漁業で活躍しています。そこで、卒業生が、今、どんな漁業に携わっているのか、就業してどんな感想を持ったかなど、紹介します。

No.18 今井 翼くん (平成25年3月卒・現18歳) 遠洋カツオ一本釣漁船

Q. 仕事の内容は？

- * 機関の当直及び釣り込みなどの甲板作業を行う。機関当直は一日に2時間を1回で、深夜0から2時まで当直を行うと次の日の当直は休みになる。
- * 甲板作業は、魚の食いが良い時は釣り込みを行うが、少し鈍ると魚を取り込むタモ網を持つ。
- * 凍らせた魚を移動させる冷凍作業など船全体の作業を行う。

Q. 大変なことは？

- * 乗船して2年目、やはり朝早くからの作業が大変である。この時期はビンナガマグロの漁期で、漁場は日本の東沖になるため、東に行けば行くほど日の出が早くなるため朝起きが大変である。
- * 今航海は、ビンナガマグロの漁場にクジラが居て、クジラの周りに魚の群れがあり、その魚を釣った(クジラ付き)。
- * 群れの中には、メバチマグロも含まれており、それも一緒に釣り上げた。メバチマグロの重さはビンナガマグロの4倍程あり、取り込むのが大変であった。
- * メバチマグロは魚が大きいため、鮮度保持と凍結を早めるために魚の臓物などを取り除く「エラ抜き」作業を行う。この作業は腰を曲げた状態で行うので、最後は腰が痛くなり大変であった。

Q. 良いこと、楽しいことは？

- * 魚が沢山釣れた日、一日の作業が終わり、風呂に入り、シャワーを浴びている時に一日の充実感を感じた時が一番楽しい。

Q. 学園在学中の思い出は？

- * 全てのことが、今は楽しい思い出です。

Q. 学園で学んだ(身に付けた)ことで、現場で役立っていることは？

- * ロープのつなぎ方、さし継ぎが今でも役立っている。

☆. 在校生へのアドバイス

- * 意欲を持って素直な気持ちで頑張してほしい。

(平成26年7月8日)